



株式会社 ノジマ

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル

TEL.050-3116-1212(代) FAX.050-3116-1250

「投資家のみなさま」専門メールアドレス info@nojima.co.jp

<http://www.nojima.co.jp>

■ い〜でじ!! ホームページURL

- い〜でじ!!本店 PC版 ..... <http://www.enet-japan.com>
- い〜でじ!!本店 モバイル版 ..... <http://www.enet-japan.com/mb>
- い〜でじ!!楽天市場店 ..... <http://www.rakuten.co.jp/edigi/>
- い〜でじ!!楽天市場ゲーム館 ..... <http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/>
- い〜でじ!!Yahoo!店 ..... <http://store.yahoo.co.jp/digicon/>
- eでじ!!Gamer's ..... <http://aumall.jp/user/5551512>

■ ソロン株式会社 <http://www.solon-inc.com/>

■ 株式会社テレマックス <http://www.telmax.co.jp>

■ 株式会社WAVE <http://www.waveweb.co.jp>



## 投資家のみなさまへ

第46期 中間報告書 平成19年4月1日▶平成19年9月30日





## ■ 全員経営理念

～お客様にさらに信頼されるノジマへ～

- 社会に貢献する経営
- オープンで公正な経営
- 独創的で革新的な経営
- 人間愛がある経営
- 向上心がある経営

● ごあいさつ	.....	P. 3
● Q&A	.....	P. 4
● 財務ハイライト	.....	P. 5～6
● 中間決算の概況	.....	P. 7～8
● 中間連結キャッシュ・フロー計算書	.....	P. 9
● 品目別売上高	.....	P.10
● 株式の概況	.....	P.10
● トピックス	.....	P.11
● 子会社の状況	.....	P.12
● 当社グループ関連主要記事	.....	P.13～14
● 会社の概要	.....	P.15
● 営業店舗	.....	P.15～18
● 株主メモ	.....	P.18



## ■ ごあいさつ

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の継続的な改善を背景とした設備投資の増加や、雇用環境の改善の兆しは見られるものの、サブプライムローンの問題の影響、原油をはじめとする原材料、食料品価格の高騰、景気の回復の家計への波及の遅れなど、心理的にも実的にも経済が収縮する危険性がある状況となっています。

家電流通業界は、薄型テレビを始めとするデジタル家電を中心に単価の下落等があったものの、売上高ベースで順調な伸びを示し、猛暑の影響もありエアコン等季節商品の販売も堅調に推移いたしました。その一方で同業他社間の競争は一層厳しさを増しております。

このような状況の下、当社グループにおける販売の状況につきましては、第1四半期こそ前期を引きずり伸び悩みましたが、第2四半期以降、薄型テレビを中心としたAV機器とエアコン等の季節商品が牽引し、携帯電話につきましても、前年がモバイルナンバーポータビリティ前の買い控えの影響もあり、本年は販売台数が大幅に伸張することで、増収を確保することができました。

収益の状況といたしましては、平成19年3月に合併した、旧(株)真電(以下真電事業部)の本部統合や、不採算店スクラップのスピード感を欠き経費増となりましたが、上記増収効果に加え、負ののれんの償却が加わり、経常利益では増益となりました。

又、将来、収益の「重石」となる、過去のM&Aののれんの減損を徹底的に行なうと同時に、繰延税金資産の戻し入れを行なうことで、中間純利益は赤字となりましたが、将来の負債を一掃し、近年増加傾向にあった総資産の圧縮を進めました。

店舗展開につきましては、集客が期待できるショッピングセンター内への出店を計画的に進め、横浜のセンター北駅前と千葉のちはら台に2店舗の出店を行なうのと同時に、丸井の閉鎖に伴い丸井中野本店の閉店、溝の口店をマルイファミリー溝口店への出店(平成19年10月20日開店済み)を前提に前倒して閉店を行ないました。

さらに、不採算の旧真電の3店舗(新潟本店、新潟吉田、新潟上越)の閉店を行なうなど、積極的にスクラップアンドビルドを進めてまいりました。子会社の状況につきましては、携帯電話販売子会社の業績は引き続き好調に推移いたしました。音楽CD/DVD販売の(株)WAVEは不採算店のスクラップと販売管理費の削減を積極果敢に進めるも、営業赤字を半減させたにとどまり、eコマースの(株)イーネット・ジャパンにつきましても、DVDの販売手法の変更を行ない収益確保を目指しましたが、上期は赤字となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、650億、営業利益は、▲3億、経常利益は、8億、中間純利益▲11億となりました。

当社グループの中長期的経営戦略といたしましては、安定的な収益の確保と投下資本効率の高い経営を持続しつつ、成長を続けることを重視し、そのための組織及び体制作りを行なってまいります。また、経営理念を共有できる会社とはM&Aや業務提携を視野に入れ、「ノジマ」のプレゼンス(存在価値)を高めてまいります。



代表執行役 野島 廣司

## ■ Q&A

### Q 46期の店舗展開はどうか。

**A** 当社の店舗展開の戦略としては、店舗数の拡大を目指すのではなく、スクラップ&ビルドを実践し、店舗数は現状を維持、または、削減しつつ、売り場面積の増大を図りながら効率の良い出店を方針としております。2期連続の赤字店舗は基本的に閉店を進め、さらには、現在は赤字であっても将来性が見込めない店舗の撤退判断を迅速果敢に行います。また、大規模小売業者告示の施行、まちづくり3法の改正等、流通に関わる法律が大きく変わる中、大型店舗へのリニューアル並びに複合型ショッピングセンターへの進出を促進していく予定です。また、併せて、他の同業者との差別化を図るため、ショッピングセンター内での業態の開発を進め、お客様の立場に立った売り場作りと仕組みづくりを続けてまいります。

### Q 旧真電の店舗戦略はどうか。

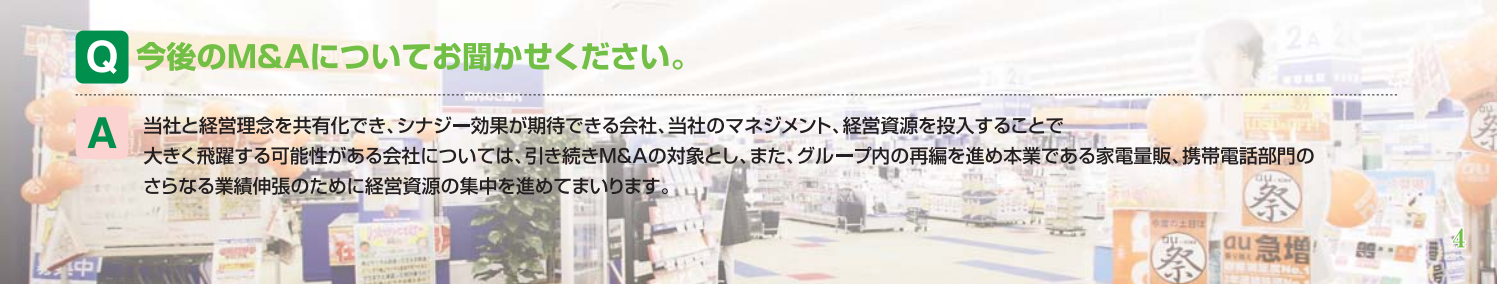
**A** 旧真電の店舗については、合併時の21店舗を5店舗閉店、1店舗をオープン(790坪)し10月31日時点で17店舗となっております。合併の実を上げるため、更なる店舗のスクラップをスピードアップし、大型店へ集約していきます。

### Q 46期の見通しについてお聞かせください。

**A** サブプライムローンの問題の影響、景気の回復の家計への波及の遅れなど、心理的にも実的にも経済が収縮する危険性がある状況となっています。デジタル家電業界では、薄型テレビに見られるように、販売数量は伸びるものの、販売単価の大幅ダウンと価格競争の激化が進み収益が圧迫されたり、パソコンのようにマーケット自体が縮小しているものなどが主因で業界では更なる消耗戦が継続されると予想されます。全社の売上高は、MD(仕入れ)部門の再編成、店舗との連携強化、店舗の運営体制の改革、さらには新店の効果もあり、全ての月で市場調査会社による業界平均を上回っています。利益面では、第1四半期連結の経常利益45百万円、第2四半期では経常利益789百万円と744百万円増額、中間期では昨年比167.4%となり、急激な改善傾向にあります。これは、接客への意識の向上、メーカーに対する価格交渉力のアップを図ったことが結果に結びついたと考えております。当社は、更なる向上のため、今現在の施策を継続、強化すべき商品は徹底的に強化、安全、環境問題等を中心に時代に合わないものは徹底的に削減していきます。今後の新店は薄型テレビ、エアコンに関しては地域一番の展示数を目指しお客様への心象の向上、特色ある店舗の商品構成、経営資源の集中を図ってまいります。財務面では、将来の収益の重石となる過去のM&Aで発生したのれんの再評価、ノジマグループ全体繰延税金資産の戻し入れ、不採算店舗7店の減損を実施、将来の負債の一掃を図り1,297百万円の特別損失を計上、結果、純利益は▲1,173百万円となりました。また、借入金の返済を進め無駄な現金を持たず資産効率を高め、財務体質を強化してまいります。

### Q 今後のM&Aについてお聞かせください。

**A** 当社と経営理念を共有化でき、シナジー効果が期待できる会社、当社のマネジメント、経営資源を投入することで大きく飛躍する可能性がある会社については、引き続きM&Aの対象とし、また、グループ内の再編を進め本業である家電量販、携帯電話部門のさらなる業績伸張のために経営資源の集中を進めてまいります。

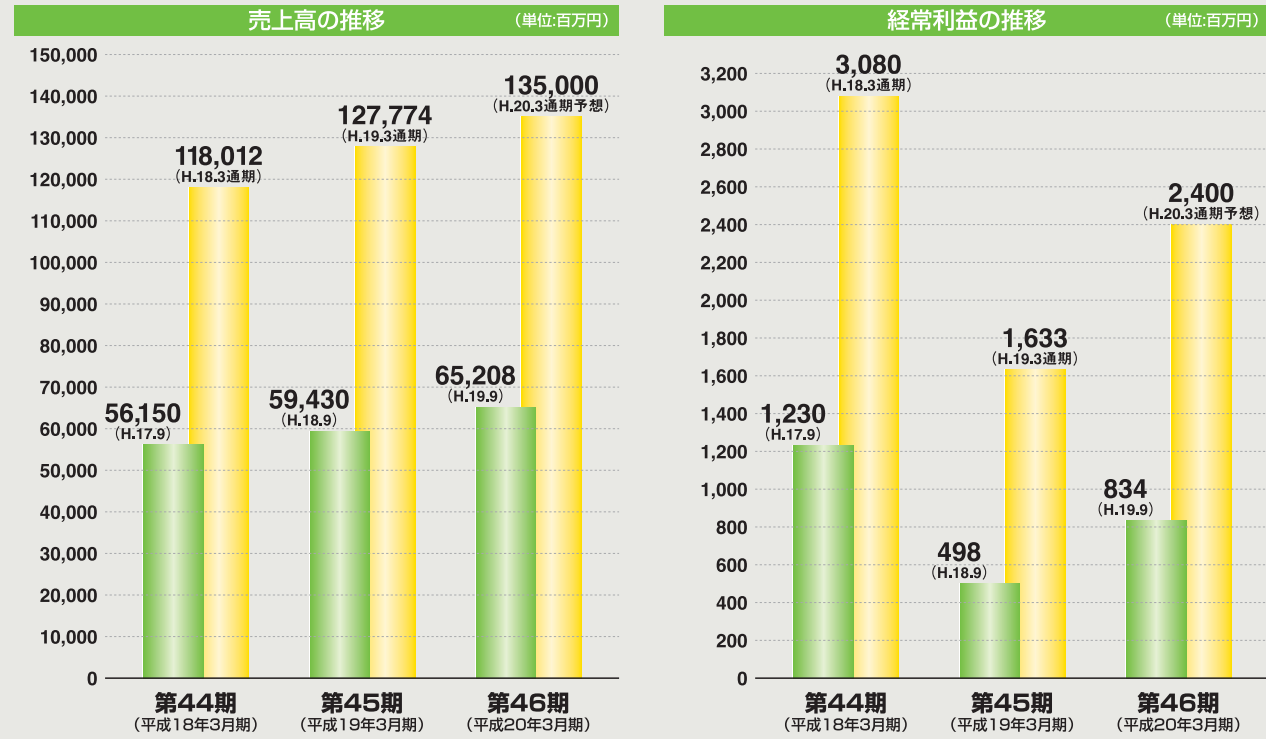


財務ハイライト (平成19年9月中間期)

中間連結

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高/652億800万円 ■ 経常利益/8億3,400万円 ■ 純利益/▲11億7,300万円



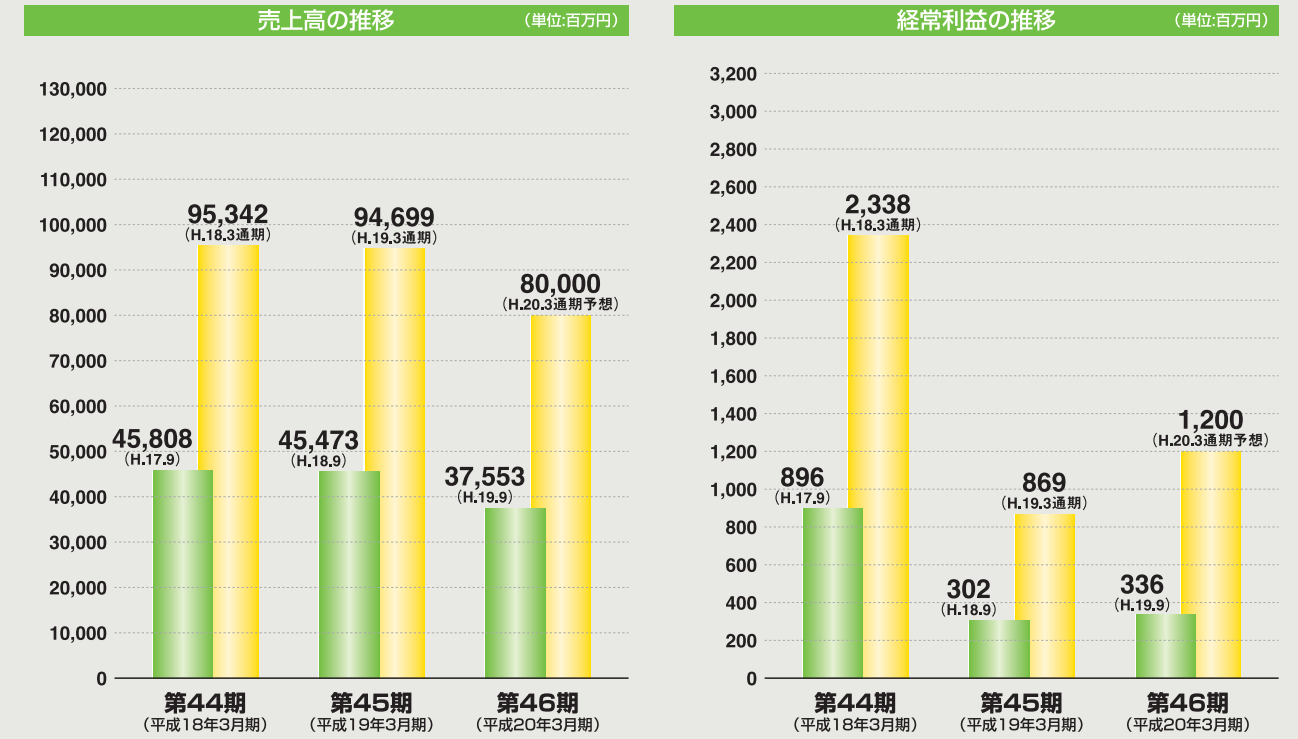
連結	第44期 平成17年9月 (平成18年3月通期)	第45期 平成18年9月 (平成19年3月通期)	第46期 平成19年9月 (平成20年3月通期予想)
売上高	56,150 (118,012)	59,430 (127,774)	65,208 (135,000)
経常利益	1,230 (3,080)	498 (1,633)	834 (2,400)
純利益	538 (1,608)	252 (707)	▲1,173 (▲500)
1株当たり純利益(円)	38.48 (111.07)	16.03 (43.55)	▲54.49 (▲23.22)
総資産	33,873 (40,905)	38,612 (56,896)	48,893
純資産	7,991 (10,805)	11,150 (15,501)	14,085

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

中間単体 (注1)

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 売上高/375億5,300万円 ■ 経常利益/3億3,600万円 ■ 純利益/▲3億9,400万円



単体	第44期 平成17年9月 (平成18年3月通期)	第45期 平成18年9月 (平成19年3月通期)	第46期 平成19年9月 (平成20年3月通期予想)
売上高	45,808 (95,342)	45,473 (94,699)	37,553 (80,000)
経常利益	896 (2,338)	302 (869)	336 (1,200)
純利益	457 (1,298)	122 (174)	▲394 (▲200)
1株当たり純利益(円)	32.71 (89.71)	7.74 (10.75)	▲18.30 (▲9.29)
総資産	30,564 (34,746)	32,686 (48,804)	40,418
純資産	7,435 (10,020)	10,051 (13,891)	13,354

(注1) 今期より、携帯電話販売事業が単体には計上されておりません。尚、この処理による連結売上高への影響は全くございません。

(単位:百万円、単位未満切り捨て)



■ 中間決算の概況 (平成19年9月30日現在)

連 結

貸借対照表(中間) 平成19年9月30日現在。前期は平成18年9月30日現在。

	第45期 (中間)	第46期 (中間)		第45期 (中間)	第46期 (中間)
資産の部			負債の部		
現金及び預金	5,259	7,459	支払手形及び買掛金	9,709	11,355
受取手形及び売掛金	4,731	6,252	短期借入金	1,600	1,600
たな卸資産	10,864	12,693	1年以内返済予定長期借入金	2,973	3,657
その他	1,822	2,525	1年以内償還予定社債	20	520
貸倒引当金	▲28	▲58	未払金	2,901	2,663
流動資産合計	22,649	28,873	未払法人税等	321	377
建物及び構築物	3,778	5,261	その他	1,327	1,035
土地	1,644	3,157	流動負債合計	18,853	21,210
その他	2,254	1,503	社債	550	30
有形固定資産合計	7,677	9,922	長期借入金	5,634	5,484
無形固定資産合計	710	780	退職給付引当金	913	948
差入敷金及び保証金	5,728	6,075	負ののれん	—	5,177
その他	1,843	3,241	その他	1,511	1,957
投資その他の資産合計	7,571	9,317	固定負債合計	8,609	13,597
固定資産合計	15,960	20,019	負債の部合計	27,462	34,807
資産の部合計	38,610	48,893	純資産の部		
			資本金	2,430	4,295
			資本剰余金	2,845	4,710
			利益剰余金	5,706	4,891
			自己株式	▲70	▲32
			株主資本合計	10,911	13,864
			その他有価証券評価差額金	61	33
			少数株主持分	175	186
			純資産合計	11,148	14,085
			負債純資産合計	38,610	48,893

損益計算書(中間)

(単位:百万円、単位未満切り捨て)  
平成19年4月1日から平成19年9月30日まで。  
前期は平成18年4月1日から平成18年9月30日まで。

	第45期 (中間)	第46期 (中間)
売上高	59,430	65,208
売上原価	49,236	53,943
売上総利益	10,194	11,265
販売費及び一般管理費	10,091	11,554
営業利益	102	▲288
営業外収益	559	1,269
営業外費用	163	145
経常利益	498	834
特別利益	169	42
特別損失	251	1,297
税金等調整前中間(当期)純利益	417	▲420
法人税、住民税及び事業税	267	372
法人税等調整額	22	508
過年度法人税等修正額	—	▲29
少数株主損失	125	97
中間(当期)未処分利益	252	▲1,173

単 体(注1)

貸借対照表(中間) 平成19年9月30日現在。前期は平成18年9月30日現在。

	第45期 (中間)	第46期 (中間)		第45期 (中間)	第46期 (中間)
資産の部			負債の部		
現金及び預金	3,164	5,726	買掛金	8,002	7,335
売掛金	2,769	2,378	短期借入金	200	200
たな卸資産	8,916	9,800	1年以内返済予定長期借入金	2,898	3,360
その他	1,968	2,992	1年以内償還予定社債	—	500
貸倒引当金	▲3	▲6	未払金	2,546	2,472
流動資産合計	16,815	20,890	未払法人税等	151	50
建物	3,450	4,762	その他	742	834
土地	1,644	3,157	流動負債合計	14,541	14,754
その他	2,020	1,278	社債	500	—
有形固定資産合計	7,115	9,197	長期借入金	5,484	4,748
無形固定資産合計	232	231	退職給付引当金	696	699
差入敷金及び保証金	5,329	5,630	負ののれん	—	5,177
その他	3,192	4,467	その他	1,412	1,684
投資その他の資産合計	8,522	10,098	固定負債合計	8,092	12,309
固定資産合計	15,870	19,528	負債の部合計	22,634	27,064
資産の部合計	32,686	40,418	純資産の部		
			資本金	2,430	4,295
			資本剰余金	2,845	4,710
			利益剰余金	4,785	4,347
			自己株式	▲70	▲32
			その他有価証券評価差額金	61	33
			株主資本合計	9,990	13,321
			純資産合計	10,051	13,354
			負債純資産合計	32,686	40,418

損益計算書(中間)

(単位:百万円、単位未満切り捨て)  
平成19年4月1日から平成19年9月30日まで。  
前期は平成18年4月1日から平成18年9月30日まで。

	第45期 (中間)	第46期 (中間)
売上高	45,473	37,553
売上原価	38,045	30,487
売上総利益	7,427	7,066
販売費及び一般管理費	7,461	7,802
営業利益	▲33	▲735
営業外収益	472	1,185
営業外費用	135	113
経常利益	302	336
特別利益	—	36
特別損失	98	616
税引前中間(当期)純利益	204	▲243
法人税、住民税及び事業税	75	28
法人税等調整額	6	150
過年度法人税等修正額	—	▲29
当期純利益	122	▲394

(注1) 今期より、携帯電話販売事業が単体には計上されておりません。尚、この処理による連結売上高への影響は全くございません。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで。前期は平成18年4月1日から平成18年9月30日まで。

営業活動によるキャッシュ・フロー			投資活動によるキャッシュ・フロー				
区分	期別	第45期 (中間)	第46期 (中間)	区分	期別	第45期 (中間)	第46期 (中間)
税金等調整前中間(当期)純利益		417	▲420	定期預金の預入による支出		▲15	▲22
減価償却費		484	654	定期預金の払戻による収入		343	11
減損損失		160	1,056	投資有価証券の取得による支出		▲0	▲40
退職給付引当金の増加額(▲減少額)		11	0	投資有価証券の売却による収入		1	55
支払利息		99	137	投資有価証券の償還による収入		—	300
投資有価証券売却損		1	20	連結範囲変更を伴う子会社株式売却による支出		—	▲21
投資有価証券評価損		4	128	貸付金の回収による収入		101	4
有形固定資産除売却損		52	52	有形固定資産の取得による支出		▲1,218	▲449
売上債権の減少額(▲増加額)		1,622	1,327	無形固定資産の取得による支出		▲157	▲143
たな卸資産の減少額(▲増加額)		1,352	▲310	長期前払費用の取得による支出		▲2	▲0
仕入債務の増加額(▲減少額)		▲970	▲1,420	差入敷金及び保証金の預入による支出		▲606	▲277
持分変動益		▲158	—	差入敷金及び保証金の償還による収入		55	74
その他		468	60	その他		▲111	52
小計		3,546	1,286	投資活動によるキャッシュ・フロー		▲1,607	▲456
利息及び配当金の受取額		20	61				
利息の支払額		▲99	▲145				
法人税等の支払額		▲893	▲346				
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,573	856				

財務活動によるキャッシュ・フロー			
区分	期別	第45期 (中間)	第46期 (中間)
短期借入金純減額		▲100	▲2,456
長期借入による収入		1,000	230
長期借入金の返済による支出		▲1,538	▲1,960
社債の償還による支出		▲1,060	▲10
少数株主からの払込による収入		205	—
配当金の支払額		▲93	▲128
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲1,587	▲4,325

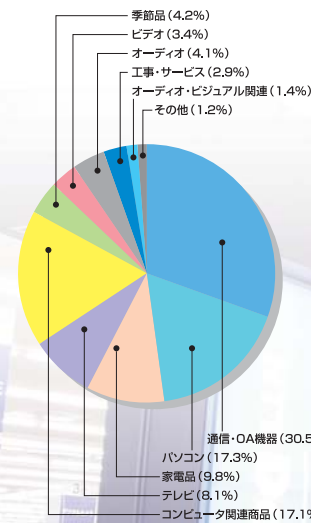
現金及び現金同等物の増(▲減)額			
区分	期別	第45期 (中間)	第46期 (中間)
現金及び現金同等物期首残高		4,881	10,775
現金及び現金同等物中間期末残高		4,264	6,850

■ 品目別売上高 (平成19年9月中旬期)

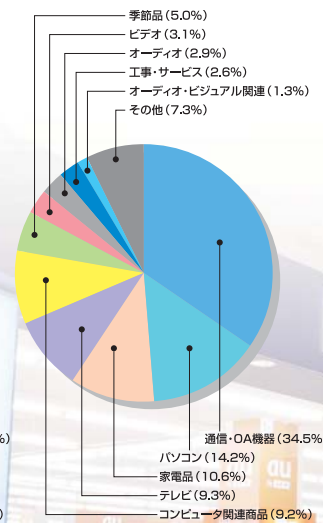
区分	期別	前決算 連結会計期間 (平成18年4月1日 平成18年9月30日)	当決算 連結会計期間 (平成19年4月1日 平成19年9月30日)
通信・OA機器		18,102	22,532
パソコン		10,310	9,231
家電品		5,839	6,911
テレビ		4,838	6,043
コンピュータ関連商品		10,164	5,999
季節品		2,486	3,286
ビデオ		1,992	1,993
オーディオ		2,446	1,908
工事・サービス		1,734	1,716
オーディオ・ビジュアル関連商品		816	833
その他		699	4,753
合計		59,430	65,208

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

■ 第45期(中間)



■ 第46期(中間)



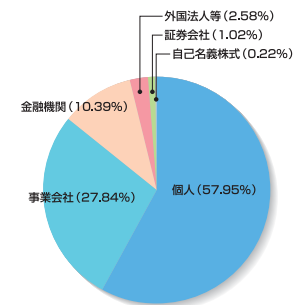
■ 株式の概況 (平成19年9月30日現在)

■ 株式分布状況

- 会社が発行する株式の総数 ..... 85,000,000株
- 発行済み株式の総数 ..... 21,578,138株
- 1単元の株式数 ..... 100株
- 株主数 ..... 7580名

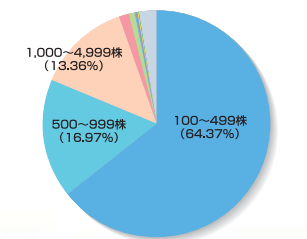
■ 株式の所有者別分布

個人	12,503,625株	57.95%
事業会社	6,010,881株	27.84%
金融機関	2,238,960株	10.39%
外国法人等	556,220株	2.58%
証券会社	219,925株	1.02%
自己名義株式	48,527株	0.22%
合計	21,578,138株	100.00%



■ 株式の所有数別分布状況

100~499株	64.37%
500~999株	16.97%
1,000~4,999株	13.36%
5,000~9,999株	1.40%
10,000~49,999株	0.83%
50,000~99,999株	0.13%
100,000~499,999株	0.29%
500,000~999,999株	0.13%
1,000,000~4,999,999株	0.07%
その他	2.52%
合計	100.00%





## トピックス

## 1 スクラップ&amp;ビルドを原則とした大型店出店

第46期11月現在におきましては、丸井中野本店、(旧)溝の口店、掛川店、(旧)富士店、真電新潟本店、真電吉田店、真電上越店、真電Hiリビングプラザ、真電新潟店の9店舗を閉店、センター北店、丸井ファミリー溝口店、ユニモちはら台店、イオン新潟南店、日の出店、イオン富士南店の6店舗を新規オープンまたはショッピングセンター、モールへ移設オープンいたしました。出店については大規模小売業者告示の施行、まちづくり3法の改正等、流通に関わる法律が大きく変わる中、大型商業施設内への出店を基本戦略とし、今期は全て複合施設内への出店を進めております。また、家電量販業界は、寡占化が進み売上1000億円台で単独の会社は当社だけであり、他の同業者との差別化を図るため、複合施設内での業態の開発を進め、お客様の立場に立った売場作りと仕組み作りを続けております。長期的な視点で競合他社との戦いを進めるべく、スクラップ&ビルドとローコストオペレーションを原則にしながら戦略的に出店を進めております。

## 2 組織の変更

## (1) MD部門の再編成

メーカーとの交渉力、店舗との連携強化を目的に、MD部門を強化再編成しました。経営トップ自らが参加することで、よりスピーディーな商談が可能となりました。

## (2) 通信部門分離の実施

4月から懸案であった物販と通信の分離を実施しました。販売、収益の責任を明確化し相互依存の負の部分排除しグループ全体の業績向上に向けての成果が実現しつつあります。

## (3) 店舗・営業部門の変更

従来はフロアスタッフとオペレーションスタッフに分かれており、悪い意味で業務、意識が分かれてしまっておりました。お客様にとっては、全てが同じ従業員であり、従業員の意識を変えるために、オペレーションスタッフを廃止し全従業員のフロアスタッフ化を継続しております。また、接客販売部を第一接客販売部と第二接客販売部の2つに分け、より細かく指導できるような体制を改めております。

## (4) 管理部署の組織変更

管理機能の強化のため、企画管理部とCSR推進部を新設しました。企画管理部は、管理会計・中長期の経営計画、システムの強化を図るため、CSR推進部は、社会的責任を果たすための機能を集約、法令順守、内部統制を推進、内部監査、組織としての強化を図る目的のために新設しました。当社の弱点である管理部門の改善強化を継続して図っていきます。

## 3 真電との合併の効果

本年3月の合併以来、「お客様の立場に立った経営」という経営理念の共有化を柱に旧真電との間で本部の統合、システムの統合、店舗のスクラップ&ビルドを実施してまいりました。その結果、旧真電の業績の改善がみられております。また、この10月にはノジマイオン新潟南店を旧真電の経営資源を活用しながらオープンしており、合併による効果が期待できる状況になっております。

## 子会社の状況

## 1 eコマース子会社 (株)イーネット・ジャパン

当社は、インターネットのウェブサイトおよび携帯電話のサイトを通じ、「い〜でじ!!」のブランドを用いて商品を販売する形態をとっており、全国のお客様に、いつでもどこでも手軽にお買い物をお楽しみいただいております。現在は、自社サイトの他、インターネット・ショッピング・モールの「楽天市場」および「Yahoo!ショッピング」を中心に店舗しており、主にオーディオ・ビジュアル、パソコン関連、生活家電、ゲームソフト、DVDソフト、カー用品等を販売しております。

平成19年7月には本店をリニューアルオープンし、取扱商品の拡大と更に充実した品揃えに取組み、また本店独自のサービスとして、ネット業界初の7年型長期安心保証を導入し、お客様が安心してご購入いただけるように図ってまいりました。

平成19年度下期はサイト統合を図り、きめ細かいサービス提供を目指すほか、NTTドコモのi-mode公式サイトへの出店を開始し、多くのお客様に、気軽にネットショッピングをお楽しみいただけるような店舗作りを進めてまいります。



## 2 通信事業子会社 ソロン(株)及び(株)テレマックス

ソロンとしては、上期については前期の下期に引き続き、人員調整の実施により効率のアップに努めてまいりましたが、販売本数の伸びが市場の伸びには及びませんでした。一店舗あたりの販売本数についても、ソロン販売、テレマックスともに前年とほぼ同数となり、大きな伸び率とはなりません。ただし、上期の末からau、ドコモの販売方法の変更がマスコミを賑わすようになり、市場は駆け込み需要の波が発生してきており、第3四半期はこの波をまず確実に捕らえることにより、大きな波とすべく取り組んでまいります。

また、11月末にはドコモの割賦販売もスタートしてまいります。人員の問題についても、12月、1月、3月の年間でも販売のピークを迎える時期でもあり、積極的な採用を図り、販売本数の積極的なアップに取り組んでまいります。

今後の市場については、販売方法の大幅な変更により、この1年間は大きな市場の変動が考えられます。この活動を的確に捉え、効率、販売本数のアップに積極的に取り組み、店舗についても積極的にスクラップ&ビルドを進めることにより、一店舗当たりの販売本数についても過去の最高を目指すべくこの半期は取り組んでまいります。



## 3 音楽・映像ソフト販売子会社 (株)WAVE

平成19年度上半期につきましては、当社は、リテイル事業の収益力強化を最優先課題と捉え、店舗営業力強化に加え、粗利益率の改善、労務生産性の向上をはかっていくと共に、3店舗の不採算店舗の撤収を実施し、営業効率改善に取り組みました。又、店舗事業以外につきましては、当社の戦略ターゲット層である大人世代向けのレーベル事業を開始し、2アーティストの作品の制作・販売を実施いたしました。

しかしながら、音楽配信市場の成長によるシングル市場の低迷、少子高齢化による主力顧客層の減少に伴う大型ヒット作品の不在化、eコマースを中心とした価格競争の激化等により、当社の属する音楽ソフト小売業界においては、平成19年1月〜8月音楽ソフト生産実績が、前年比95.6%と下落傾向に歯止めが掛からない厳しい環境が続き、残念ながら、平成19年度上半期売上高は前年比92.4%の3,779百万円となりました。

平成19年度下半期におきましては、引き続き、リテイル事業の収益力強化に取り組む、レーベル事業につきましても、更に2アーティストのリリースを計画しております。又、eコマース事業では、新たに自社サイト並びにモバイルサイトの立ち上げに取り組み、音楽映像ソフト専門販売社として、より幅広いお客様にご満足いただけるよう、取り組んでまいります。



新潟地盤を有する家電量販店の真電を3月に吸収合併したノジマは、合併後、県内初となる新設店を1月下旬にオープンする。新潟市江南区に建設中のショッピングセンター「SC」内への出店...

ノジマ、新潟・江南に新設店

ノジマが吸収合併した真電のSC内への出店... 今秋にオープンする「ショッピングセンター」内への出店...

真電と合併後初、来月、SC内に大型店で大手に対抗... ノジマが吸収合併した真電のSC内への出店...

▲日本経済新聞 (2007.9.5)

石油温風機の販売中止、ノジマ今冬、不具合で事故受け... 関東が地盤の家電量販店「アコン」販売などで売り上...

▲日本経済新聞 (2007.10.12)

190店舗を円形に配置、市原の大型SCきょう開業... 千葉市市原市は、11月27日、真電が8日開業...

日本経済新聞 (2007.9.8)

真電本店など3店閉鎖

ノジマが再編に着手

新潟を地盤とする家電量販店の真電を吸収合併したノジマは、赤字が続く真電の店舗再編に着手...

業績不振で決断、来月、黒字化を最優先... 真電は県内に現在二十一家の店舗があるが、一店舗を閉鎖...

▲日本経済新聞 (2007.6.12)

携帯メール使用、製品問い合わせ... 家電量販店のノジマは、携帯メールと掲示板を使...

▲日本経済新聞 (2007.7.9)

ノジマ社員のやる気高める



野島広司会長

中堅家電量販 再建急ぐ

首都圏2社 次期社長に聞く... ノジマと真電をめぐり動き...

山下巖執行役員

「一昨年の四月の役員会から、上半期が終わった。赤字が続く。再建が急ぐ...」

▲日刊工業新聞 (2007.6.1)

▲日本経済新聞 (2007.6.10)

当社グループ関連主要記事

野島会長が社長に復帰... ノジマ、業績不振で再建急ぐ...

▲日本経済新聞 (2007.4.6)

野島会長が社長に復帰... ノジマ、業績不振で再建急ぐ...

▲日本経済新聞 (2007.5.23)

中古パソコン回収

NECは家電量販店大手のノジマと協業... パソコンの新製品販売...

買い替えを促進... 買い替えを促進...

買い替えを促進... 買い替えを促進...

▲日本経済新聞 (2007.7.9)



## ■ 会社の概要 (平成19年9月30日現在)

商号	株式会社 ノジマ(店頭登録:7419)	
英文名	NOJIMA CORPORATION	
本社所在地	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90 HS大江橋ビル5F TEL:050(3116)1212 FAX:050(3116)1250 URL:http://www.nojima.co.jp	
設立	昭和37年4月	
資本金	42億9,574万円	
役員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締役兼代表執行役会長兼社長 / 野島 廣司 ● 取締役(社外) / 小林 稔忠</li> <li>● 取締役兼代表執行役副社長 / 三枝 達実 ● 取締役(社外) / 戸谷 雅美</li> <li>● 取締役兼常務執行役 / 中塚 康二 ● 取締役(社外) / 梅津 武</li> <li>● 取締役兼執行役 / 庄司 友彦 ● 取締役(社外) / 石井 允三幸</li> <li>● 取締役兼代表執行役副会長 / 真柄 準一 ● 執行役 / 倉橋 雅則</li> <li>● 取締役兼執行役 / 奥田 信夫 ● 執行役 / 倉持 昭彦</li> <li>● 取締役 / 石坂 洋三 ● 執行役 / 佐藤 丈三</li> <li>● 取締役 / 鈴木 勲 ● 執行役 / 広瀬 哲夫</li> <li>● 取締役(社外) / 木村 喬 ● 執行役 / 温盛 元</li> <li>● 取締役(社外) / 星名 光男 ● 執行役 / 山内 渉</li> <li>● 取締役(社外) / 松嶋 英機 ● 執行役 / 山内 純一</li> <li>● 取締役(社外) / 仙波 昂 ● 執行役 / 高野 健二</li> </ul>	
社員数	単独621名 平均年齢/34.9歳 連結931名 (平成19年9月30日現在)	
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコン、プリンター等のIT・情報関連</li> <li>● 携帯電話、PHS、FAX等の通信関連</li> <li>● TV、ビデオ、ムービー等のAV関連</li> <li>● 家庭用関連のゲーム機器</li> <li>● エアコン、冷蔵庫、電子レンジ等の家庭用電気製品の販売</li> </ul> <p>※店舗名は、「ノジマ」「でんわ館」と専門性を活かした独自の業態で展開</p> <p style="text-align: right;">各種機器及びソフトの販売</p>	
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)イーネット・ジャパン/インターネットショップ「い〜でじ!!」運営</li> <li>● ソロン(株)/通信機器卸売・販売</li> <li>● (株)テレマックス/駅前立地型携帯電話・PHS等通信機器専門店</li> <li>● (株)WAVE/CD・DVD等の音楽・映像ソフトの販売</li> <li>● (株)オー・ティ・エス/一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業</li> </ul>	
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソニーマーケティング ● 松下コンシューマエレクトロニクス</li> <li>● NECパーソナルプロダクツ ● 東芝コンシューママーケティング</li> <li>● シャープエレクトロニクスマーケティング ● 富士通パーソナルズ</li> <li>● 三菱電機ライフネットワーク ● エプソン販売</li> <li>● キヤノンマーケティングジャパン ● NTTドコモ</li> <li>● ソフトバンク ● au</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	
取引銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三菱東京UFJ銀行/相模原支社 ● 横浜銀行/相模原駅前支店</li> <li>● みずほ銀行/町田支店</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>	

## ■ 営業店舗 (平成19年10月31日現在)

神奈川県	相模原市	● 相模原本店	042-753-1516	静岡県	伊東市	● 伊東店	0557-35-3001	
		● 新城山店	042-783-0611		沼津市	● 沼津店	055-927-2951	
	座間市	● 座間店	046-298-1701		裾野市	● 裾野店	055-994-1530	
	厚木市	● NEW厚木店	046-296-6121		富士市	● 富士店	0545-65-7021	
	愛甲郡	● 愛川店	046-284-1562		静岡市	● 岡町店	054-355-0395	
	伊勢原市	● 伊勢原店	0463-91-1214		藤枝市	● 藤枝店	054-647-2222	
	秦野市	● 秦野店	0463-83-1214		磐田市	● 磐田店	0538-21-2371	
	川崎市	● 東名川崎店	044-871-8371		長野県	松本市	● 松本店	0263-85-4457
		● マルイファミリー溝口店(9F)	044-822-2525		安曇市	● 豊科店	0263-71-1570	
	横浜市	● NEW青葉台店	045-962-4886		山梨県	甲府市	● NEW甲府店	055-228-2911
	● 横浜四季の森店	045-958-1561	都留市	● 都留店	0554-46-1422			
	● 能見台店	045-770-6630	富士吉田市	● 富士吉田店	0555-30-0011			
	● ちらぼーと横浜店	045-929-6252	韮崎市	● 韮崎店	0551-30-0021			
	● センター北店	045-914-7661	茨城県	守谷市	● 守谷店	0297-21-1550		
藤沢市	● 藤沢店	0466-31-6377	新潟県	新潟市	● イオン新潟南店	025-385-8355		
	● 湘南台店	0466-46-7822	<b>新業態店</b>					
茅ヶ崎市	● 茅ヶ崎店	0467-54-0880	神奈川	藤沢市	● オーディオスクエア藤沢	0466-31-0603		
綾瀬市	● 綾瀬店	0467-79-5279	相模原	● オーディオスクエア相模原	042-730-1326			
小田原市	● 鶴宮家電館	0465-49-1230	東京都	武蔵村山市	● Digital+(デジタルプラス)	042-590-1522		
	● NEW鶴宮店	0465-45-2345	<b>真電販売グループ</b>					
定柄上郡	● 大井松田店	0465-82-8168		● 真電販売グループ本部	025-245-8211			
定柄下郡	● 湯河原店	0465-64-1688	新潟県	村上市	● 真電村上市店	0254-53-4411		
鎌倉市	● 鎌倉店	0467-42-1422	新潟市	● 真電新潟田店	0254-24-0100			
東京都	港区	● 六本木店	03-5771-4738	五泉市	● 真電五泉店	0250-42-1111		
	足立区	● 北千住マルイ店(8F)	03-3888-7571	阿賀野市	● 真電水原店	0250-63-2500		
	江東区	● 豊洲店	03-3533-9211	新潟市	● 真電巻店	0256-73-2560		
	町田市	● 忠生店	042-792-3151		● 真電白根店	025-373-4500		
		● NEW鶴川店	042-737-6031		● 真電小新店	025-201-1660		
	国分寺市	● マルイファミリー国分寺店(7F)	042-326-6511	加茂市	● 真電加茂店	0256-52-5100		
	小平市	● 小平店	042-343-1422	三奈市	● 真電三奈店	0256-34-4161		
	青梅市	● NEW青梅デジタル館	0428-32-1215	佐渡市	● 真電佐渡店	0259-63-6300		
		● 青梅家電館	0428-31-0850	見附市	● 真電見附店	0258-63-3220		
	あきる野市	● あきる野とつきゅう店	042-559-1400	長岡市	● 真電長岡店	0258-20-5411		
	八王子市	● 八王子みなみ野店	042-632-2620	魚沼市	● 真電小出店	025-792-8110		
埼玉県	所沢市	● 所沢本店	04-2903-1481	十日町市	● 真電十日町店	025-752-5131		
		● 東所沢店	04-2951-1545	柏崎市	● 真電柏崎インター店	0257-24-5588		
	さいたま市	● 大宮店	048-661-8366	妙高市	● 真電新井店	0255-72-9500		
		● 浦和店	048-712-4811		● 真電新潟サービスセンター	025-286-4811		
	上尾市	● NEW上尾店	048-773-5577					
	草加市	● 丸井草加店(5F)	048-920-5360					
	吉川市	● 吉川店	048-984-1020					
	入間郡	● 三芳店	049-274-1650					
千葉県	市川市	● 市川店	047-329-6901					
	市原市	● ユニモちはら台店	0436-76-0100					

### 通信専門店

神奈川県	相模原市	● でんわ館 相模原本店	042-769-6928
		● ドコモサービスコーナー相模原店	042-730-1967
		● auショップ相模原店	042-751-5007
		● ソフトバンク相模原本店	042-769-0075
		● ソフトバンク相模原駅ビル	042-730-7861
		● ドコモショップミウヰ橋本店	0120-820-660
	厚木市	● でんわ館EXPRESS 厚木店	046-297-1030
	川崎市	● ドコモショップ向ヶ丘遊園店	0120-353-360
		● ドコモショップ新百合ヶ丘店	0120-650-150
		● ソフトバンク新百合ヶ丘	044-959-1270
横浜市	● ドコモショップたまプラーザ店	0120-082-477	
	● ドコモショップあざみ野店	0120-03-2760	
小田原市	● でんわ館EXPRESS 鴨宮店	0485-45-2344	
東京都	港区	● でんわ館 六本木	03-5771-4736
	足立区	● auショップ西新井店	03-5845-6151
	小平市	● でんわ館 小平店	042-343-5401
	府中市	● でんわ館 府中店	042-358-5511
	武蔵村山市	● DENWAKAN	042-590-1455
千葉県	市原市	● ソフトバンクunimoちはら台	0436-76-0050
静岡県	榛原郡	● ドコモショップ榛原店	0120-345-595
山梨県	富士吉田市	● でんわ館 富士吉田店	0555-21-1012

### い〜でじ!!

■ い〜でじ!!本店 PC版	http://www.enet-japan.com
■ い〜でじ!!本店 モバイル版	http://www.enet-japan.com/mb
■ い〜でじ!!楽天市場店	http://www.rakuten.co.jp/edigi/
■ い〜でじ!!楽天市場ゲーム館	http://www.rakuten.co.jp/edigi-game/
■ い〜でじ!!Yahoo!店	http://store.yahoo.co.jp/digicon/
■ eでじ!!Gamer's	http://aumall.jp/user/5551512

■ 営業店舗 (平成19年10月31日現在)

テレマックス 営業店舗一覧

神奈川	相模原市	● ミウイ橋本店	042-700-7559	
	横浜市	● ダイエー戸塚店	045-860-1333	
		● モザイクモール港北店	045-914-2857	
	● ダイエー三ツ境店	045-360-6248		
	● イトーヨーカドー上大岡店	045-840-0234		
	● エスポット新横浜店	045-533-5281		
	● 京急ストア鶴見東店	045-508-6181		
	● スーパービバホーム長津田店	045-989-5188		
	● ココロット鶴ヶ峰	045-372-3121		
	川崎市	● アコルテ新百合ヶ丘店	044-955-6028	
	平塚市	● ラスカ平塚店	0463-20-2031	
	小田原市	● ダイナシティイーストモール店	0465-46-1151	
	横須賀市	● ショッパーズプラザ横須賀店	046-820-0168	
東京都	杉並区	● 高円寺駅前店	03-5327-5333	
	足立区	● 西新井トスカ店	03-5681-6001	
		● エトセトラ綾瀬店	03-5673-5231	
	大田区	● アトレ大森店	03-5764-8241	
	板橋区	● ダイエー成増店	03-5697-0388	
	西東京市	● ひばりが丘バルコ店	0424-25-5030	
	多摩市	● グリナード永山店	042-356-8761	
		● 丘の上プラザ店	042-338-5901	
	日野市	● auショップ高幡不動駅前店	042-599-7431	
	八王子市	● 京王八王子SC店	0426-60-5023	
	世田谷区	● 成城学園前店	03-5429-0581	
		● 下北沢駅前店	03-5779-3621	
		● 経堂駅前店	03-5450-7511	
	新宿区	● 高田馬場店	03-5292-0531	
	府中市	● くるる府中店	042-358-2521	
	町田市	● 町田modi店	042-790-7595	
	青梅市	● カインズホーム青梅インター店	0428-30-7720	
	埼玉県	所沢市	● 新所沢バルコ店	042-925-8714
		ふじみ野市	● ビバモール埼玉大井店	049-256-8811
			● ココネ上福岡店	049-256-6151
飯能市		● 飯能サピア店	0429-71-1441	
蕨市		● イトーヨーカドー錦町店	048-447-7735	
越谷市		● 新越谷ヴァリエ店	0489-86-0412	
桶川市		● 桶川メイン店	048-789-0701	
さいたま市		● 大宮ロフト店	048-648-6201	
川越市		● 川越modi店	049-273-7870	
千葉県		千葉市	● 千葉オーロラモールジュンヌ店	043-301-9791
	鎌ヶ谷市	● アクロスモール新鎌ヶ谷店	047-441-5811	
	流山市	● 流山おおたかの森SC店	04-7178-2001	

株式会社WAVE 営業店舗一覧

本社	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6-90HS大江橋ビル3F	
東京都	● 営業部	050-3116-2966
	● 管理部	050-3116-2948
	● 池袋店	03-5949-5670
	● 汐留店	03-5537-2642
	● 光が丘店	03-3976-7401
	● みずほ店	042-556-4762
	● 田無店	0424-66-1499
	● 大泉店	03-3978-5906
	● 大宮店	048-648-6916
	● 大宮宮原ステラタウン店	048-653-4550
その他 関東・東北	● 川口店	048-262-1094
	● 三郷店	048-954-1828
	● 小手指店	04-2923-7650
	● 新所沢店	04-2998-8030
	● 成田店	0476-23-8252
	● 船橋店	047-425-3289
	● 東戸塚店	045-827-0191
	● 佐野店	0283-21-6123
	● つくばクレオスクエアQ't店	029-855-5621
	● 仙台長町店	022-308-2689
中部	● 松本店	0263-38-2265
	● 大垣店	0584-78-0972
	● 木曾川店	0586-86-9627
近畿	● 高槻店	072-684-2211
	● 伊丹店	072-770-2955
	● 奈良登美ヶ丘店	0743-70-1357
	● イオン大日店	06-4252-3638
	● 神戸北店	078-983-3419

西日本電電株式会社 営業店舗一覧

本社	〒761-8083 香川県高松市三名町字上原田569-3	087-815-7780
● 米子事業所		0859-37-0222
● ウィルコムカウンター高松		067-863-6450
● auショップ空港通り店		087-815-7370
● auショップ高松中央		087-863-6600
● auショップ屋島		087-841-2112
● auショップ志度		087-894-7122
● auショップ三本松		0879-23-1351
● auショップ三木		087-891-9980
● auショップ宇多津		0877-59-9870
● auショップ観音寺		0875-24-3434
● auショップ観音寺国道店		0875-25-6745
● auショップ坂出		0877-45-4610
● auショップ郡家		0877-56-1787
● auショップ普通寺		0877-62-4545
● auショップフジグラン川之江店		0896-57-0988
● auショップ松山南環状店		089-915-0241
● auショップ清水町		089-917-6257
● auショップ宇和島新町		0895-26-2168
● auショップ宇和島佐伯		0895-20-0350
● auショップ安芸		0887-32-0200
● auショップ瀬戸		0561-87-0003
● auショップはりまや		088-826-1880
● auショップ大津		096-293-0606
● auショップ北島中央		088-697-2737
● 携帯スポット池田ステーション		0883-72-5523
● コスモネット 土佐店		088-852-2931
● コスモネット しまん店		0880-31-1256
● コスモネット 土佐清水店		0880-82-4346
● auショップ 松江西津田		0852-27-2760
● auショップ 鳥大前		0857-32-2620
● auショップ 綾南		087-876-9393
● auショップ 仏生山		087-889-8883
● auショップ イオン高知店		088-826-7733
● auショップ パルティ・フジ平井		086-901-0388
● auショップ 西条中央		0897-53-7007
● auショップ イオン新居浜店		0897-31-0540
● auショップ パルティ・フジ東予店		0898-76-1411
● RipL (サンテラス株式会社)		08512-2-1211
● auショップ 米子		0859-34-0077
● auランドゆめタウン浜田店		0855-25-0630
● (有) ティーエフシーメディアラボ		0854-43-9750

■ 株主メモ (平成19年9月30日現在)

決 算 期	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	3月31日
中間配当基準日	9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	〒100-8212/東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先)	〒137-8081/東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載	電子公告 ※ やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ( <a href="http://www.nojima.co.jp/">http://www.nojima.co.jp/</a> )に掲載しております。
株主優待制度	
株 主 優 待 券	3月31日及び9月30日現在で議決権を有する株主に対し、「株主優待券(10%割引)」を年2回贈呈
贈 呈 基 準	所有株式数100株以上500株未満保有の株主に対し、10,000円の優待割引権(1,000円券×10枚)を1冊、同500株以上2,000株未満保有の株主に対し、25,000円の優待割引権(1,000円×25枚)を1冊、同2,000株以上保有の株主に対し、2冊(50,000円)をそれぞれ半期毎1回、贈呈する。
利 用 方 法	現金、デビットカード、ノジマショッピングクレジットによる支払いの場合には優待割引券の使用により通常売価の10%が割引になる。またクレジットカードによる支払いの場合には優待割引券の使用により購入金額の8%が割引になる。但し、株式会社イーネット・ジャパンでの購入の場合は後日相当額を現金で割り戻す。
有 効 期 限	● 3月31日発行基準の優待割引券/翌年1月31日まで有効 ● 9月30日発行基準の優待割引券/翌年7月31日まで有効
取 扱 店 舗	● 株式会社ノジマの全店舗 ● 株式会社イーネット・ジャパンの自社サイト上( <a href="http://www.enet-japan.com">www.enet-japan.com</a> ) ● 株式会社WAVEの全店舗 ● 株式会社テレマックスの全店舗 ※ ノジマグループ各社の店舗のない地域にお住まいの株主で、ご優待割引券を使用して、当社のお取り扱い商品をお買い求めになりたい方は、(株)イーネット・ジャパンでのご利用をお薦め申し上げます。同社をご希望されない場合は、アンケートハガキ、ファックスを使って、(株)ノジマ総務グループ宛に、または当社ホームページからお問い合わせフォームを使って(株)ノジマカスタマーセンター宛に住所、氏名、電話番号、株主No.と共に、商品名、メーカー名、型番名等をお知らせください。当社からご連絡させていただきます。